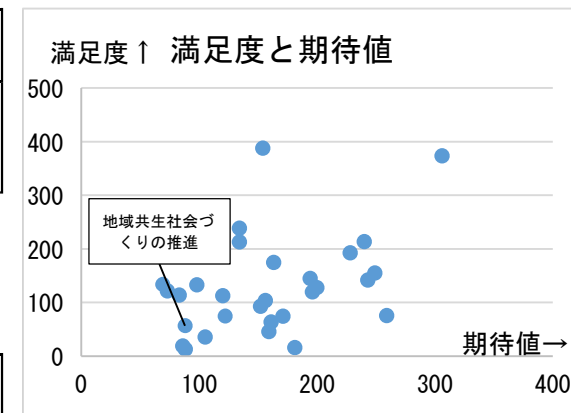


1 施策概要

まちの姿 5	いつまでも健やかに暮らせるまち
説明	<p>住み慣れた地域で、共に支え合いながら、生き生きと日常生活を過ごすため、地域全体で健康づくりや福祉の課題に取り組んでいくことが大切です。そのため、複雑化した地域生活課題を解決し、支援が必要な人に対して必要な支援が届くように、福祉の「支え手側」と「受け手側」に分かれるのではなく、市民、団体、事業者がそれぞれ役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域づくりを推進するとともに、行政と連携・協働した包括的な支援体制を整備することで、「いつまでも健やかに暮らせるまち」を目指します。</p> <p>また、高齢者が地域の中で元気に活躍できる機会づくりや仕組みづくりを進めるとともに、生涯を通じた健康づくり等を進めていきます。さらに、障がいのある人や、様々な問題を抱え孤立しがちな人、生活に困窮している人等が地域の中で生き生きと生活できるよう、生活の安定や自立、就労等に対する課題について、きめ細かなサービスの提供等、市民、団体、事業者、関係機関、行政が一体となって取り組んでいきます。</p>

施策 5 - ①	地域共生社会づくりの推進								
目指す姿	ソーシャルインクルージョンの考え方に基づき、多様な団体や関係機関等が地域の中で互いに支え合い、地域とともに創っていく地域共生社会の構築が進んでいます。								
市民アンケート結果	<table border="1"> <tr> <th>満足度</th> <th>満足度順位</th> <th>期待値</th> <th>期待値順位</th> </tr> <tr> <td>57</td> <td>25/30</td> <td>88</td> <td>25/30</td> </tr> </table>	満足度	満足度順位	期待値	期待値順位	57	25/30	88	25/30
	満足度	満足度順位	期待値	期待値順位					
57	25/30	88	25/30						



施策の方向性	地域で支え合う仕組みづくり
概要	<p>・地域における重層的なセーフティネットを確保するため、地域住民同士のケア等、多様な主体が互いに協力し、支援を必要とする人が地域社会の中で必要な支援が受けられる仕組みの構築を図ります。また、ボランティア人材等の地域福祉の担い手の発掘・育成を支援していくとともに、活動が過重な負担とならずに、継続して行うことができるよう必要な支援を図ることで人材の確保を図ります。</p>
現状と課題	<p>・核家族世帯の増加とともに、ひとり親世帯や単身世帯等、家族形態が多様化してきている一方、地域住民同士のつながりによる日常的な支え合いや見守り等の機能が低下してきていることから、社会からの孤立や生活困窮、生きづらさを背景とした不安やひきこもり、8050問題※5等の多様かつ複合的な地域生活課題への対応が求められています。地域福祉の推進のため、包括的な支援体制の構築を進めるとともに、相互に支え合うことを通じて、多様性を認め合い、子どもから高齢者まで、障がいの有無によらず誰もが安心して生きがいをもってともに暮らせる地域共生社会の構築を進めていく必要があります。</p>

担当部署	福祉政策課、福祉相談課、高齢障がい課、健康推進課、子ども発達支援課
------	-----------------------------------

2 施策に係る取組内容

No.	事務事業名	担当課	事業概要	成果
1	地域共生社会推進事業	福祉政策課	〇〇～	□□～
2	老人クラブ助成事業	高齢障がい課	〇〇～	□□～
3	一般介護予防事業	高齢障がい課	〇〇～	□□～
4	介護予防・生活支援サービス事業	高齢障がい課	〇〇～	□□～
5	生活支援体制整備事業	高齢障がい課	〇〇～	□□～
6	ゲートキーパー研修	健康推進課	〇〇～	□□～
7	発達サポーター育成事業	子ども発達支援課	〇〇～	□□～

3 指標

No.	指標名	指標の概要	単位	H29	H30	H31	R2	R3	方向性	備考
A	福祉カレッジ参加人数	△△～	人		19	15	16	13	↗	
B	福祉カレッジ実施回数	△△～	回		11	13	6	10	↗	
C	生活課題を抱える市民及びその世帯に対する個別支援の実施件数	△△～	件		239	294	888	964	↗	
A	老人クラブ（クラブ数）	△△～	団体	16	16	16	16	16	↗	
B	老人クラブ（会員数）	△△～	人	993	950	921	843	789	↗	
C	うんどう教室（参加者数）	△△～	人	1,055	1,189	1,079	498	800	↗	
D	通所型サービスB事業（団体数）	△△～	団体	2	6	11	12	12	↗	
E	通所型サービスB事業（会員数）	△△～	人	58	131	193	190	185	↗	
F	ゲートキーパー研修（参加者数）	△△～	人	34	36	19	15	31	↗	
H	発達サポーター育成講座（初級）	△△～	人	-	-	-	24	30	↗	

4 施策に係る取組の事業費

No.	事務事業名	担当課	H29		H30		H31		R2		R3		備考
			決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	
	地域共生社会推進事業	福祉政策課	0	0	7,773	972	7,955	1,989	14,298	3,575	15,135	3,784	
1	地域共生社会推進事業	福祉政策課	0	0	7,773	972	7,955	1,989	14,298	3,575	15,135	3,784	
	老人福祉団体助成	高齢障がい課	5,045	1,581	5,042	1,580	5,166	1,733	2,993	659	4,141	1,231	
2	老人クラブ助成事業	高齢障がい課	5,045	1,581	5,042	1,580	5,166	1,733	2,993	659	4,141	1,231	
	一般介護予防事業	高齢障がい課	20,889	/	/	/	/	/	19,128	/	/	/	
3	運動教室事業	高齢障がい課	3,189	1,132	3,199	1,135	4,204	1,492	2,875	1,020	2,754	977	
	介護予防・生活支援サービス事業	高齢障がい課	106,985	/	/	/	/	/	125,081	/	/	/	
4	通所型サービスB事業	高齢障がい課	515	182	123	43	2,690	954	2,295	814	2,442	867	
	生活支援体制整備事業	高齢障がい課	/	/	/	/	/	/	4,509	/	/	/	
5	生活支援コーディネーター	高齢障がい課	4,500	1,901	4,500	1,901	4,500	1,901	4,500	1,901	4,500	1,901	
	自殺対策関係費	健康推進課	427	105	368	153	245	98	44	25	73	43	
6	ゲートキーパー研修	健康推進課	39	20	39	20	32	16	39	20	30	15	
	障がい児支援事業								81,995	61,609	43,857	28,845	
7	発達サポーター育成講座（初級）	子ども発達支援課	-	-	-	-	-	-	363	0	174	0	地域支援体制確保事業補助対象 10/10
	合計		13,288	/	20,676	/	24,547	/	27,363	/	29,176	/	

5 総括

取組の総括

6 SDGsとの関係性

No.	目標	説明	関係性
1	【貧困】 貧困をなくそう	 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。	●
2	【飢餓】 飢餓をゼロに	 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。	
3	【保健】 すべての人に健康と福祉を	 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。	●
4	【教育】 質の高い教育をみんなに	 【教育】すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。	
5	【ジェンダー】 ジェンダー平等を実現しよう	 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。	●
6	【水・衛生】 安全な水とトイレを世界中に	 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。	
7	【エネルギー】 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。	
8	【経済成長と雇用】 働きがいも経済成長も	 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。	
9	【インフラ、産業化、イノベーション】 産業と技術革新の基礎をつくろう	 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。	

No.	目標	説明	関係性
10	【不平等】 人や国の不平等をなくそう	 各国内及び各国間の不平を是正する。	
11	【持続可能な都市】 住み続けられるまちづくりを	 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。	●
12	【持続可能な生産と消費】 つくる責任 つかう責任	 持続可能な生産消費形態を確保する。	
13	【気候変動】 気候変動に具体的な対策を	 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。	
14	【海洋資源】 海の豊かさを守ろう	 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。	
15	【陸上資源】 陸の豊かさも守ろう	 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。	
16	【平和】 平和と公正をすべての人に	 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。	
17	【実施手段】 パートナーシップで目標を達成しよう	 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。	

※説明は外務省の日本語訳を参照しています。